尾瀬は、美しい自然と貴重な生態系を持ち、『自然の宝庫』と称されています。
ぐんまの子どもたちに一度は尾瀬を訪れ、自然や環境について考え、ふるさとを愛する気持ちを育んでほしい。その願いのもとに「尾瀬学校」が行われています。

参加児童・生徒の感想
★新しい発見や感動があった 89%
★ガイドの話が分かりやすかった 82%
★自然保護や環境問題に興味を持った 65%

自然保護運動の原点でもある尾瀬
尾瀬は、「こみ持ち帰り運動」の発祥の地などでもあることから、「自然保護運動の原点」とも言われています。子どもたちは、尾瀬のトイレや木道の役割などを知ることで、尾瀬における自然保護の取り組みを学ぶことができます。

問い合わせ：尾瀬保全推進室 027-226-2881

日本百名城の一つ
ー徳川四天王の城ー

箕輪城
みのち
箕輪城跡
場所：高崎市箕郷町
時代：1500年頃～1598年（慶長3年）

箕輪城は、本丸・二の丸・郭馬出（かくまいでり）など主要な施設の多くを丘陵上に配している平城です。
築城したのは長野氏です。長野氏はこの堅牢な城により、数度にわたる武田信玄の攻防に耐えました。
水絵9年（1566）に落とされてしまいましたが、武田氏氏代は、城代として一時期、真田昌幸が入城しています。その後、織田氏、北条氏が支配していましたが、北条氏滅亡後は徳川氏の城となり、徳川四天王の一人、井伊直政が城主となりました。井伊直政はその後、高崎城を築城し、箕輪城は廃城になりました。

発掘調査の結果、最後の井伊直政期を中心に、門跡、石垣、石組みの排水溝、土塀、廃柱建物等が見つかっています。特に石垣は、虎塀門（ここもん）や夢治曲輪（かぐらなり）、御前曲輪（ごぜんくるな）西塀などで実際に見ることができます。

問い合わせ：箕輪城歴史公園 027-226-2881

「郭馬出西虎口門」は、幅5.7m、高さ6.3mの2階建ての桟門（やぐらもん）です。郭馬出西虎口は、南側からの3本の道が集約されており、防衛上きわめて重要であり、その場所に堅牢な門を造っていました。今回、発掘調査の成果を受け、復元されました。
お披露目は10月末に行われる箕輪城まつりの予定です。

問い合わせ：高崎市教育委員会（027-321-1292）